

森の川自然散歩

2020年1月号

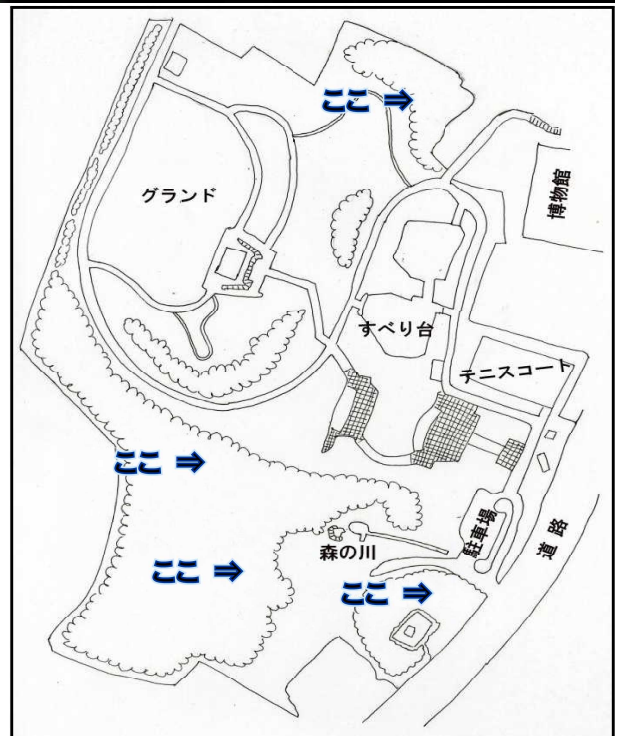


森の中のカラフルなジャンパー

上：うす暗い森の中の葉上で、仲むつまじく並んでいるオキナワモリバッタのメス(右)とオス(左)。

オキナワモリバッタ (メモ) ▶▶▶

- 体の大きさは25～30mmの中型のバッタ。触角の先が白く目立つことが特徴です。地面の上よりは葉っぱの上によく留まっています。
- 森川公園では、モクマオウのトンネル道やウガンヌカタの後ろの森、森川之塔そばの森などで見られます。モリバッタ(森蝗虫)の名前のおり、森の中が好きで、明るい所よりは、少し暗い所を探すと見つけやすいよ。
- モリバッタの仲間は、沖縄諸島の島々に普通にすんでいます。それぞれの島で少しずつ色や模様が違って、別々の名前がつけられています。森川公園のある沖縄島のものは、オキナワモリバッタと呼ばれています。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(34) フタオチョウがやってくる日



(上) : ススキの葉の中で休んでいるフタオチョウ(沖縄市にて)。

フタオチョウは、県指定天然記念物になっている希少なチョウで、沖縄島が分布の北限で、1980年代前半までは、沖縄島の北部域だけにすんでいました。1986年に沖縄市知花で1枚の前翅が見つかったのに始まり、その後沖縄市や北中城村、宜野湾市で目撃されるようになりました。

宜野湾市内では、これまでのところ嘉数高台公園、普天間小裏の森(基地内)、普天間中裏の森、キャンプ瑞慶覧(普天間川沿の森)で見つけられています。こうした地域では、クスノハエノキが食樹になっています。森川公園にも、クスノハエノキは生えていますので、いつかフタオチョウがやってくるかもしれませんね。

森川公園1月の花ごよみ

～ ガジュマル ～

- 高さ20mにもなる常緑の高木で、沖縄諸島の石灰岩地にできる森の主要な構成樹木です。
- 海岸地から山地まで自生し、岩壁や別の樹の上に生えることもあります。時には、直接岩から芽生えることもあり、石の上に生えている幼木も見られます。
- 森川公園でもあちこちに生えていますが、特に駐車場から右手の遊歩道のすぐ先、道路際にある大きな木は、葉っぱが黄緑色で、いわゆる黄金ガジュマルです。



上:石灰岩の大きな岩に生えている若いガジュマル。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

